

わたしたち、社会福祉法人玉柏会は、地域社会の中で「ともに生きる」ことによる「しあわせ」を目指していきます。



# 玉 柏 会



令和5年 4月16日(日) 面会日にて

## 特集 : 令和5年度 社会福祉法人玉柏会の活動方針

### 目 次

令和5年度 玉柏会 理事長より	2
「本年度の取り組みについて」・「玉柏会本部の活動」	3
玉柏会 各事業所 活動方針	4
ともいき共創プロジェクトの紹介 新人職員紹介	5
特集:各事業所 春の活動	6
特集:各事業所 春の活動/すずちゃんのこと	7
令和4年度 決算報告/行事予定/相談	8

### 社会福祉法人 玉柏会

本部 宍原荘 みすず かりん  
かしわ寮 すずらん オークリーブス

〒424-0301

静岡県静岡市清水区宍原362番地

☎054-394-0311 FAX 054-394-0312



# ご挨拶

## 【平凡が一番】

今年に入り2月と4月にご家族とご利用者との面会が実現できました。コロナ禍で感染防止のため2年半の間、面会は中止してきました。昨年は分散形式や時差形式を取り入れるなど工夫をこらして開催にこぎつけましたが、クラスター発生で11月の面会は断念せざるを得ませんでした。今年は面会時間を短縮しましたが、久しぶりの対面でご利用者もご家族も全員が満面の笑みを浮かべて一時を過ごされていました。コロナ禍以前は定期的に2ヶ月毎の面会日が至極当然の如く開催出来ていましたが、この3年間を経て本当に貴重なイベントだと再認識しました。平凡ではあっても従来と変わらぬ日常がいかに大切なものであるか、そのありがたさを身にしみて感じさせてもらいました。これからは今まで以上に皆が一日、一日をそして一時、一時を精一杯過ごしていけるようにしていきたいと思えます。



社会福祉法人玉柏会  
理事長

海野和雄

## 【50年の信頼感】

再来年、玉柏会は創立50周年を迎えます。50年間ご利用者のご家族、役職員が一体となって自立活動と支援活動を続けてきました。おかげさまでお互いの信頼感はますます強くなっています。この信頼感は玉柏会内にとどまらず地域の皆様、自治体、福祉団体の間でも拡がりを見せ福祉活動の水平展開に寄与しています。創立時、障害の軽重は問わず困っている人は全て穴原荘で受け容れた心意気と自前の努力は職員の心の中に引き継がれています。又、コロナ禍で自らの感染の怖れを顧みず、ご利用者の治療や支援活動に立ち向かってくれた職員の姿勢には本当に敬服致しました。今後、世の中の環境の変化が予測される中、自らの活動も改善、改変が必要になってくると思いますが、今まで培ってきた力と実績を信じて、これからも玉柏会らしい福祉活動を展開して行って頂きたいと思えます。

## 【ありがとうございました】

この度、本年6月で任期満了にて理事長職を退任する事になりました。平成28年の就任以来7年間玉柏会にお世話になりました。53年の勤め人生活の最後を玉柏会という福祉施設で過ごすことが出来て本当に幸せだと感じています。ご利用者とのふれあい、職員の皆さんの明るい逞しさ、今までの社会人生活では経験出来ない貴重な人生を体感できました。これからも微力ながら地域の福祉活動に関係していきたいと思えます。皆様には共生・ともいきの法人理念を基にお互い様の連帯感をもって活動される事を期待します。

ありがとうございました。

## ●本年度の取り組みについて

常務理事 杉山弘志



新型コロナウイルス感染症も2類から5類に移り、世間では「ウィズコロナ」や「過去のもの」との風潮が漠然と広がっています。法人としては、「必要な警戒」を継続しながら、例年の「行事」や「活動」の復活と新たなイベントへの挑戦をしていきたいと考えております。

4月の職員向けの新年度キックオフ会議では、重点項目として「支援品質向上」「経営リスク対応」としての「専門性の向上」、人材不足リスク対応としての「業務改善の実施」、「業務リスク対応」「災害リスク対応」としての「委員会活動の深化」、そして社会的要請の「SDGsへの取組」を前年度から踏襲し、本年度は「中身の充実、達成」を求めるとしました。

重点項目は、その殆どが「リスク対応」であるため、「準備」「予防」「仕組み」という言葉を繰り返し、「いざという時のために平時から準備しておこう、将来への種まきも日頃からしていこう」という話をしました。

少しでも前に進めるよう、職員に期待し、ご利用者様とご家族様には期待していただきたいと思っております。

コロナ禍が始まった2020年の年明けから3年半が経とうとしています。ご利用者様とご家族様、これから法人の利用を検討されていた潜在的なご利用者様とご家族様にとっては、不安で長い3年半だったであろうと思われます。その不安をもう少し軽くすることはできなかつたろうかという謙虚さを持ちながら、状況に合わせたコミュニケーションを従来以上に心がけてまいります。引き続きよろしく願いいたします。

## ●令和5年度の玉柏会本部の活動

総務部次長 小長谷英春

令和5年度は世界情勢が不安定な中、物価のさらなる上昇が危惧されていることに加え、電気やガス、ガソリン価格の高騰は、運営には大きな打撃となります。報酬改定による収益のアップを望んではいませんが、他力本願ではこの事態を乗り切る事はあまりにもお粗末。しかしながら、ご利用者の高齢化による退所者の増加や入所者の確保の困難さに加え、質の高い職員の教育や確保も難しい状況にもなっています。

そのため、法人全体の取組として節約・効率化・簡素化・排除・更新・変更などの取組を事業・総務力を合わせ一致団結し、皆様のご指導ご鞭撻を頂きながら、この状況を乗り切っていくしかないと思っております。



## 玉柏会各事業所の活動方針

### 宍原荘 令和5年度 活動方針

支援一課長 齊藤雅志

宍原荘では、専門性の向上や業務の改善、リスクマネジメント等を目標にしつつ、特にご利用者一人一人への対応も考えながら取り組めます。ご利用者の皆さんも、高齢や自閉スペクトラム症等、支援を多く必要となる為、個別に支援する必要性が多くなっています。一律に支援して動いていただく方向から、個別に実施して、周りとの関係も含め、紡ぐ支援が必要になっています。そのため、職員は色々な面でスキルアップが必須で、各専門家にアドバイスをいただき進めています。コロナ禍から以前の形に戻ろうとする中、就労継続支援B型事業「かりん」でも工賃アップを目指して活動を展開しております。支援全体として、現在の最善を目指すことを合言葉に支援して参ります。

### すずらん 令和5年度 活動方針

管理者兼相談支援専門員 遠藤智一

新型コロナウイルス感染症への対応が緩和され、ようやく、休日や自由時間を楽しく過ごせる環境になりつつあります。計画相談の担当者としては、久々に堂々とご本人やご家族、事業所の皆様とお会いし、様子を拝見したり、お話を伺ったりする機会が得られる環境になり、大変嬉しく思っています。また、研修会や会合も対面で計画されており、地域の皆様と共に学び・情報交換する機会を楽しみにしております。もちろん、感染対策が不要になった訳ではないので、まだしばらくの間、相談員として多くの皆様を訪問する私たちは、マスクを外せない状況が続くと思われれます。更新やモニタリングの際、ご連絡を取らせていただきますが、その際、対面での面談に不安のある方など、その旨をお申し出下されば、別の方法で対応させていただきます。ご協力、宜しくお願い致します。

### オークリーブス 令和5年度 活動方針

オークリーブス 児童発達支援管理責任者 深田貴行

令和5年度のオークリーブスは前年度に引き続き、新規ご利用児の獲得や稼働率の向上が最優先の方針になっています。それに伴い、目標達成に向け、現在利用されているご利用児に「子どもの最善の利益」に繋がる療育を行うために必要な人的・物的環境を整えることも最優先の方針に含まれています。

そのために日々のご利用児、保護者様や関係事業所との関わりも引き続き大切にしたいと思っております。また、療育相談会や開催を見合わせていたペアレントトレーニングを再開し、新規ご利用児の獲得や専門性の向上にも繋げたいと思っております。

### みすず 令和5年度 活動方針

みすず管理者 鈴木利往

様々な日常が戻りつつある中、それでも感染リスク、物価高騰、物流変化、さらにはご利用者の体力面、健康面と多々時代の流れに沿って、現在の事実と向き合い、今後の事業所体制の進化を目指しています。みすずご利用者は「自分たちの働く場」で毎日積極的に活動参加されております。その中、5つの運営方針を掲げていますが、これが5つの連動となります。

「①就労支援(専門性の向上)」ではご利用者の「自分で出来る!」をより重視した支援に向けて、事業所内の「②業務改善」に繋げ、「③今後多様なリスクに向けて」様々な新しい挑戦に取り組んで参ります。そして「④継続的改善」として中断している活動の復活工夫や地域の方々との繋がりをさらに大切にして参ります。近い将来、「みすずとの関わりから法人内各所」への繋がり、「法人内他事業所からみすずへの繋がり」となる「⑤玉柏会の活性化」に向けた取り組みへと進めたく存じます。

### かしわ寮 令和5年度 活動方針

かしわ寮 支援三課長 鈴木清張

今年度大きく変わった点で、長年第2かしわ寮を担当していた土井支援員に替わり、3階フロアから市川支援員がリーダーとなり新体制がスタートしています。

コロナ禍が収束しつつあることから、自粛していた行事にも今年度は積極的に参加していく事が決まっています。既にみなと青年学級へ参加したり、ご利用者が宍原地区のゴミ拾いの奉仕活動をする事で、地域貢献する活動を再開しています。また、多くの方にかしわ寮の生活を知って頂きたいことから、5月2日にはうしおワークの職員、ご利用者、保護者様が宍原荘と合わせて見学に来ています。

何よりかしわ寮の皆さんが健康で、世話人さんの作った料理を美味しく食べ、笑顔のたえないグループホームを今後も継続していきます。

# ともいき共創プロジェクトの紹介

鈴与グループ様、株式会社クロス・カンパニー様との連携による  
～ともいき共創プロジェクト～

クロス・カンパニー様(以下クロスチーム)は、障がい者の有する才能を発揮できる環境を整え、各分野の専門家の付加価値を追加することにより、販売用商品を生み出す事業 障がい者と各分野専門家の共創による商品及びサービスの提供 障がい者の自立推進を図る活動 デザイン画の創作、専門家による付加価値の提供義務を事業目的とした会社です。

今回、鈴与グループ・玉柏会ではクロスチーム様の力を借り、『地域との共生、障がい者施設と企業の融合』を実現するためのデザインプロジェクトが始動しました。その第一歩として共創のワークショップが中央原荘で10名を対象とし行い、ご利用者の付加価値への創作活動が始まりました。始めは皆さん緊張や「どんな絵を描くのだろう?」といった不安もあった様でしたが、ワークショップが始まるとそれぞれのペース、それぞれのアートを楽しみながら描いていました。また、普段見られない表情や秘めていた芸術性・アート力をクロスチームのデザイナー様・スタッフ様に引き出して頂き、支援員も驚く限りでした。参加されたご利用者は「またやりたい」「今度はいつ来る?」等と感想を話してくれました。もちろん共創のワークショップは玉柏会の色々な事業所でも展開していく予定です。

今後はこのアート作品を幅広くデザイン・イベントへ展開し、『共生』理念を継続的に社会実装していきます。具体的には街の景観創造への貢献も兼ね、**静岡駅周辺ビル**に皆さんの作品がデザインとなり描かれる予定です。そこには1つのストーリーが生まれ、そのストーリーを一人でも多くの方に知って頂く事が地域との共生であり障がい者の社会参画と考えます。今後もデザイン・イベントを随時報告していきますのでお楽しみに!

株式会社クロス・カンパニー様HP <https://crossteam.jp>



## 新人職員の紹介 (中央原荘)

令和5年 4月1日 入社



森永支援員  
新しい環境で覚えることは多くありますが、先輩方の姿から学びご利用者の特性を理解し、個々にあった支援が出来るよう頑張ります。宜しくお願い致します



令和5年 4月1日 入社



澤田支援員  
4月より入社しました澤田謙輔と申します。前職でも障害者支援を行っていましたが、引っ越しを機に中央原荘にお世話になることとなりました。新たな気持ちで頑張ります。宜しくお願いします。



## 特集！！ 各事業所 春の活動！！

コロナウイルスが5類に変更になったことで、当法人も再びの流行の脅威はあれど、対策をとりつつも様々な行事を玉柏会各事業所、元通り展開していく運びとなりました。このことで何より一番喜んでるのがご利用者の皆様！！行動が強く制限され鬱々としながらも職員もコロナ禍でも楽しめるような企画を考え楽しんで頂きましたが、やはり制限が緩和されたことで活動の幅が広がりご利用者の笑顔も増えてきました。今後、特にご利用者が楽しみにしている、納涼祭や家族旅行も従来通り実施する予定で計画を立てています。今回は行動制限が緩和され各事業所の皆様楽しんでる姿を紹介致します。

### 穴原荘 VS うしおワーク Tボール対決

5月2日に、うしおワーク様とTボールでの交流を行いました。ご利用者が数日前から気にしていた天気也非常に良く、一日楽しむ事が出来ました。また、試合終了後には穴原荘の施設見学をうしおワーク様の皆様(ご利用者・職員・保護者様)にして頂き、施設内の様子も見て頂く事ができました。

試合の方は終始穴原荘が追う展開で、7回裏最終回到穴原荘が3点入れ1点差まで追いつき2アウト3塁2塁、一打サヨナラのチャンスにTボールでは珍しい三振で試合終了。13対12でうしおワーク様が勝利しました。穴原荘の皆さんは練習不足ではありましたが、接戦で怪我無く何より楽しむことができました。うしおワーク様の皆さんも試合はもちろん、施設見学も楽しんで頂いた様子でご利用者から質問を受ける場面もありました。

6月に行われる中部交流スポーツ大会では再戦が予定させているので、今から楽しみにして練習ができそうです。うしおワークの皆様本当にありがとうございました。(かりん職員S)



### 穴原荘 面会日

コロナウイルスの為の制限緩和されたものの、4月の面会日も訓練棟のみで実施致しました。久しぶりに保護者様と会うご利用者は皆さん満面の笑みを浮かべていました。当日は天候にも恵まれ外のあずまやで楽しそうに歓談する姿も多く見受けられました。短時間ではありましたがご利用者、保護者様共々お互いの元気な姿を見ることが出来て安心したご様子でした。例年なら面会日ははじめ定期的に会うことが出来る行事があり、その機会がほとんど奪われてしまい、職員もご利用者からの“いつコロナ終わるの？”という質問に答えられないつらい日々でしたがようやく・・・といったところです。このままこのウイルスが流行する事無く、終息を迎えることを切に願います。(支援員M)



### 障害者スポーツフェスティバル 穴原荘 みずび参加

スポーツフェスティバルはコロナウイルスの流行によりここ3年開催されず、ご利用者の方々は大変残念な思いをされたと思います。しかし、今年度は午前中だけではありましたが開催が決定し、ポスターをご利用者の見えるところに貼ると、とても楽しみにされている様子が見られました。幸い当日は快晴で、それでいて暑くない良いスポーツ日和となりました。数年経ったことで参加されたことのない職員とご利用者も新たに加わり、交流を深める機会になったと思います。パン取り競争、競争競技、アキュラシー、魚釣り競技の4つと、例年に比べると競技数が半分になっていますが、今後のスポーツフェスティバルは可能であれば例年通りの午後までの開催を予定しているようなので、ご利用者の今後のスポーツフェスティバルは可能であれば例年通りの午後までの開催を予定しているようなので、ご利用者のみなさんにとっては来年は更に楽しみになりそうですね。来年のスポーツフェスティバルは保護者様含め、文字通りお祭りのように盛り上げれば良いなと思います。(支援員F)



## かしわ寮 奉仕活動

かしわ寮の穴原地区での奉仕活動。ゴミ等からの感染リスクを鑑みしばらく中止していましたが、5月より再開しました。季節を感じながらお散歩気分でごみ拾い。地味ですが皆さん好きな行事の一つです。コロナ禍により中止になったのは3年以上前…ですが、地元の皆さん覚えて頂いてくれており「再開したんだね！！ありがとう！！」とお声を数名から頂き、また、多くの方からご挨拶を頂き以前に行っていた奉仕活動がこんなにも感謝され、周知されていることに、驚きと感謝の気持ちで一杯でした。今後は月一回と回数は少なく微力ですが穴原に貢献できるようご利用者共々頑張りたいと思います。（かしわ寮世話人〇）



## オークリーブス 買い物&調理実習

### 【こどもの日】

こどもの日にオークリーブスの近くにある次郎長通りの和菓子店「菜の花」へ散歩をしながら柏餅を買いに行きました。

お店には美味しそうな和菓子が並んでおり、みんな興味深そうに見ていました。店員さんから柏餅を受け取り、みんなで店員さんにお礼をしてからオークリーブスに戻りました。

オークリーブスに着く頃にはおやつの時間になっていました。こどもの日に何故柏餅を食べるのかという説明を職員から聞いて、おやつに柏餅をみんなで食べました。



### 【調理実習】

今回は、昼食を自分たちで作ってみようという試みで、調理実習を行いました。焼きおにぎりをメインとしてソーセージやサラダ作りに挑戦。今回の調理実習も上手に出来て、皆さん大満足！！自分たちで作った事もあり、おいしさも格別だった様子です。今度は何を作るのかな？楽しみですね！！（オークリーブス職員F）



## みすずちゃんのひとこと



ひとときのくつろぎ「昼休み」は吾輩の昼寝時??…午後は、確か13:00からだだが何やら少し前にメロディ♪♪が…なんと！自分たちで始業準備だったとは…いやいや、もう始めている方々まで！そう、ここはご利用者の仕事の世界！「みすず」だったな！



もうすぐメロディーが…

メロディの合図で…

作業開始！！

# 令和4年度 決算報告

令和4年度は、一言でいうと「災害対応の年」でした。2階のコロナウイルスクラスターと台風15号による2週間の断水を経験し、何とか乗り切ってきました。収益的にも高齢化による退所者の増加や水道光熱費の価格高騰や災害による保健衛生費の増額などがありました。収益的には加算や利用者の確保などの努力や寄付金や補助金・助成金などもあり、昨年度よりは収益増とはなりましたが、今後の物価上昇などを踏まえ、しっかりと状況を見据えて励んでいきたいと思っています。

総務次長 小長谷秀春

## 貸借対照表の要旨 (単位:千円) (令和5年3月31日現在)

資産の部	
流動資産	622,340
固定資産	1,275,140
(基本財産)	1,020,608
(その他の固定資産)	254,533
資産の部合計	1,897,480
負債の部	
流動負債	50,740
固定負債	155,863
負債の部合計	206,603
純資産の部	
基本金	153,640
国庫補助金等特別積立金	545,316
その他の積立金	108,539
次期繰越活動増減差額	883,382
(内当期活動増減差額)	30,448
純資産の部	1,690,878
負債及び純資産の部合計	1,897,480

# 社会福祉法人 玉柏会

## 資金収支計算書の要旨

(令和4年4月1日～令和5年3月31日) (単位:千円)

事業活動による収支	事業活動収益	619,594
	事業活動支出	552,172
	事業活動収支差額	67,422
施設設備等による収支	施設設備等収支	9,546
	施設設備等支出	37,284
	施設設備等資金収支差額	(27,738)
その他活動による収支	その他活動収入	364
	その他活動支出	1,021
	その他活動収支差額	(657)
当期末資金収支差額の合計		39,027
前期末支払資金残高		561,527
当期末支払資金残高		600,553

## 事業活動収支計算書の要旨

(令和4年4月1日～令和5年3月31日) (単位:千円)

サービス活動増減の部	サービス活動収益	614,647
	サービス活動費用	586,926
	サービス活動増減差額	27,721
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益	5,103
	サービス活動外費用	2,451
	サービス活動外増減差額	2,652
経常増減差額		30,373
特別増減の部	特別収益	9,621
	特別支出	9,546
	特別増減差額	75
当期活動増減差額		30,448
繰越活動増減差額	前期繰越活動増減差額の部	852,934
	当期末繰越活動増減差額	883,382



**穴原荘納涼祭開催!**

今更(コロナ禍)により中止または規模を縮小しての開催を余儀なくされていましたが、今年は従来通り外部の皆様も招いての開催となります。恒例の手筒花火も披露致しますので是非お越し下さい。

**9月までの予定**

7月15日土  
納涼祭  
8月13～16日  
夏期一時帰宅  
※感染症の状況により変更の可能性が有ります

ご相談は、下記の電話へどうぞ!

電話  
**054-340-3565**

FAX  
**054-340-3566**

E-Mail  
endo@tamagashiKai.com

すずらん

入・退所のお知らせ

〈穴原荘〉

- ・興津様(入所)
- ・大瀧様(入所)
- ・住田様(入所)

〈みすず〉

- ・名倉様(入所)
- ・川口様(退所)

【この記事に関するご意見やお問い合わせは】

電話:054-394-0311  
FAX:054-394-0312  
E-mail sisiharaso@po4.across.or.jp

QRコード

玉柏会では皆様のお声をお待ちしております。